

現代では様々な SNS を使いこなすことが一つのリテラシーと言ってもいいくらいに当たり前のことになっています。それは、複数の「顔」を使い分けることが、私たちにとってふつうのことになっていると言ってもいいでしょう。逆に言えば、裏表のない人間、一貫した人格であることは、以前に比べて難しくなっているのかもしれませんが。

## 多重人格は死語？

Facebook は誰にでも見せられるリア充の自分で、インスタや TikTok は広告塔の自分、Twitter では誰にも言えない感情を吐き出し、それでデトックスした「素顔の」私は LINE の特定の友だちだけが知っている・・

上の文章から各 SNS の名称だけ削除したら、昔の多重人格ミステリー小説で使えそうです。でも、今はみんなやっていることなのでミステリーのネタにもなりません。私たちはフツウに複数の「顔」を使い分ける生活をしています。

使い分けている「顔」を自分で把握しているので、多重人格とは違います。とはいえ、「誤爆」といった現象は、それぞれの「顔」を十分には管理できておらず、それでいて全く矛盾した「顔」を平気で使っていることが露呈する瞬間とも言えそうです。



## 解離 現代を映し出す症状

「顔」の使い分けが難しい関係の代表はプライベートな接触機会の多い家族関係や育児です。育児が適切に行われなかったとき、後によく起こる症状の一つが解離症状です。意識の連続性が断たれ、記憶に空白ができたりします。強いトラウマがある場合は、苦痛な記憶を遮断しておく防波堤になっている場合もあります。

現場の印象としては、解離症状を持つ学生さんは増えています。「顔」の使い分けが当たり前になった分、一貫性が重要な育児がかえって難しくなっているのでしょうか。解離は、複数の「顔」に連続性がないという象徴的な共通性という点でも、「顔」の使い分けが当たり前になった現代に潜在する困難の論理的顛末という意味においても、現代を映し出す症状と言えるのかもしれませんが。

